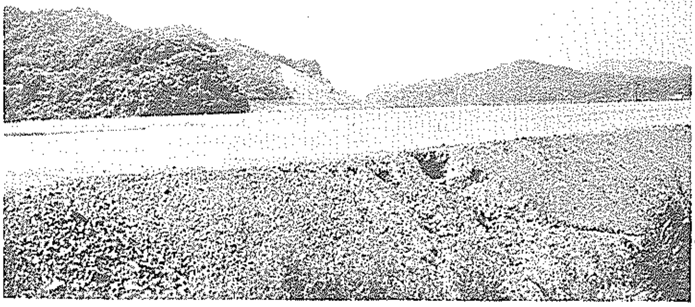
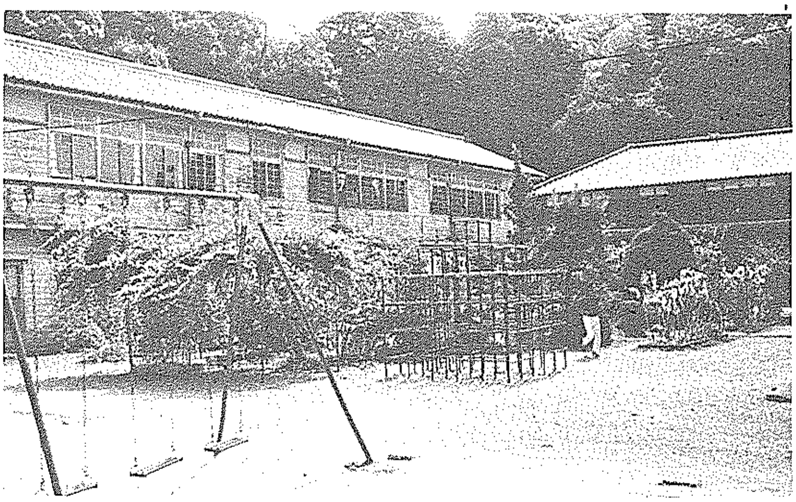
臨時市議会

十市小全面改築
「来年二月完成へ」

臨時市議会が八月六日開かれ、「十市小学校改築工事請負契約の締結について」の議案が審議され原案通り可決されました。

十市小学校（竹内淳校長＝児童数百九十五人）は、昭和十三年（一部明治四十三年）に建築された木造二階建ての校舎で老朽化に伴い現在、県住宅供給公社が開発中のパークタウンの東部に移転改築するものです。





▲パークタウン東部の十市小新校舎建設予定地
▼移転改築の決まった、木造２階建ての校舎

新校舎は鉄筋コンクリート三階建て、延べ千七百九十九平方㍍で、普通教室六、家庭科室、図工室、理科室、音楽室、図書室、視聴覚室、給食室など。本体工事費は二億九千五百万円。

地盤の問題で五十八年度着工の予定が遅れていたものですが、これで六十年二月末には、新しい校舎が完成する見込みとなりました。

“ほたるの宿”講座で
子ども会指導者を養成

地域の子ども会活動をより効果的に進めるため、その指導者に育成理論や指導技術を身につけてもらおうと、市教育委員会の主催で六月十七日から七月二十二日までの十二日間、大篠地区公民館を中心に「ほたるの宿」講座が開かれました。

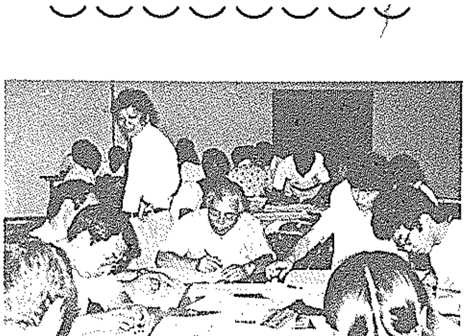
この講座は、五十六年に開設され今年で四回目。高校生以上の市民を対象に、子ども会指導者だけでなく、子供の集団活動に興味のある人の参加を呼びかけたところ、四十一人の参加申し込みがありました。

参加者の職業は公務員、会社員、農業を営む人などさまざまですが、健全な子供を育てようと、仕事を終えた後、毎週火・金曜日の午後七時から九時半まで、子ども会活動の基礎理論や活動プログラムの作成など盛りだくさんの内容を熱心に学習しました。

また、テントの張り方、追跡ハイキングのやり方など野外活動の宿泊研修も行い、最終日には、規定の講座を受講した十六人が、市の子ども会指導者として認定証を受けました。

◎次の皆さんが第四回「ほたるの宿」認定証を受けました（敬称略）

石川逸子（岡豊町八幡）▼小松敦子（東崎）▼田中隆夫（浜改田）▼竹若俊幸（東崎）▼中沢輝夫（浜改田）▼谷幸雄（大埇）▼土居俊介（十市）▼山本紀子（後免町）▼別役勝（廿枝）▼池川知行（東崎）▼細川澄雄（上野田）▼前田栄一（東崎）▼坂本真三（東崎）▼長尾陸夫（岡豊町笠ノ川）▼北村優美子（下野田）▼松村美佐（大埇）



工夫を凝らし、子ども会のポスターを作成